

地域の力を活用しよう-GIGA 推進のために-

■■■ 学校情報セキュリティお役立ち Web「今日もワンステップ！」

[illegible]

- 【1】 関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校 ICT～
- 【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～
- 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム ～研究を重ねた専門家が指南～

>> <https://school-security.jp/ml/268.pdf>

ISENでは、本日11月12日に「令和2年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第2版）をWeb公開しました。

## ● 令和2年度の学校の情報漏えい事故のポイント ●

- ・個人情報漏えい人数は、114,232 人。
- ・事故は、年度始めや成績処理の時期・学期末に多く発生。
- ・漏えい経路・媒体は、書類と電子メールが全体の 75%を占める。
- ・「規定違反」を伴う事故は、全体の 10%を占める。

```
>> https://school-security.jp/leak all/
```

□【1】関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校ICT～

◇◆ トピックス (1) .....

文部科学省「GIGA スクール構想の実現に向けた端末の利活用等に関する状況  
(令和 3 年 7 月末時点) について (確定値)」を公表

.....◆◇

2021 年 10 月、文部科学省は、  
「GIGA スクール構想の実現に向けた端末の利活用等に関する状況  
(令和 3 年 7 月末時点) について (確定値)」を公表しました。

この調査結果は、GIGA スクール構想の実現に向けて、  
全国の自治体等の端末の利活用状況をまとめたものです。

調査結果の概要は以下のとおりです。

(1) 端末の利活用の開始状況

全国の公立の小学校等の 96.2%、中学校等の 96.5%が、  
「全学年」または「一部の学年」で端末の利活用を開始しました。

(2) 端末の整備状況

1,744 自治体等 (96.2%) が整備済み、68 自治体等 (3.8%) が、  
整備未完了となっています。

なお、義務教育段階における学習者用端末 1 台当たりの児童・生徒数は、  
1.0 人という結果になりました。

(令和 2 年 3 月 1 日時点 : 6.6 人、令和 3 年 3 月 1 日時点 : 1.4 人)

(3) 端末の持ち帰りの対応状況 (学校数)

平常時の端末の持ち帰り学習実施状況は 51.8%、  
非常時の端末の持ち帰り学習実施状況は 66.5%となっています。

参考情報として、破損・紛失した端末の台数 (令和 3 年 4 月 1 日～7 月末) は、  
19,228 台となっています。

この台数は、端末整備台数 (9,459,698 台) に対する割合の 0.2%です。

また、整備済み端末に対する OS ごとの割合 (台数) は、  
Chrome OS が 40.0%、Windows が 30.9%、iOS が 29.1%、その他が 0.1%となっており、  
Chrome OS が最も多く整備されていることが分かりました。

義務教育段階における学習者用端末 1 台当たりの児童・生徒数が 1.0 人となり、  
今後はより本格的に、学習用端末の利活用が進む段階に入ることが想定されます。

▼端末利活用状況等の実態調査（令和３年７月末時点）（確定値）

[https://www.mext.go.jp/content/20211029-mxt\\_shuukyo01-000009827\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211029-mxt_shuukyo01-000009827_001.pdf)

▼GIGA スクール構想の実現に向けた整備・利活用等に関する状況について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/mext\\_00921.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/mext_00921.html)

◇◆ トピックス（２） .....

文部科学省が CBT システム「MEXCBT（メクビット）」の活用校募集を開始

.....◆◇

文部科学省は、CBT システム「MEXCBT（メクビット）」の、  
機能拡充版を利用する自治体の募集を開始しました。

MEXCBT は、国や地方自治体等が作成した全国学力・学習状況調査の問題等を活用し、  
児童・生徒が学習用端末を用いて、オンラインで問題演習ができるシステムです。

文部科学省は令和４年から、全国学力・学習状況 CBT 試行調査等で、  
MEXCBT を活用する予定です。

概要

◆利用対象校

MEXCBT の活用を希望する全国の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、  
中等教育学校、特別支援学校

◆費用

無償で活用可能

◆利用開始時期

令和３年１１月下旬から順次活用開始（～令和４年３月末）

◆申し込み受付

令和３年１１月１日（月）１６時から開始

１次締切：１１／１９、２次締切：１２／１７

CBT システム（MEXCBT：メクビット）の活用募集について（依頼）：文部科学省

[https://www.mext.go.jp/content/20211015-mxt\\_syoto01-000013393\\_4.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211015-mxt_syoto01-000013393_4.pdf)

CBT システム（MEXCBT：メクビット）の活用に関する説明会：文部科学省

[https://www.mext.go.jp/content/20211101-mxt\\_syoto01-000013393\\_6.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211101-mxt_syoto01-000013393_6.pdf)



(6) 不正アクセス

愛知県 2021 年 10 月 29 日 国立大学 外部犯罪 システム・サーバー 電子メール 36 件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の

内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

NHK NEWS WEB／ニュースサイト「毎日新聞」／Yahoo!ニュース／ あなたの静岡新聞／

[京都新聞ウェブサイト](#)／[新潟県ホームページ](#)／[草加市ホームページ](#)／[Security NEXT](#)／[鳥栖市ホームページ](#)／

佐賀新聞電子版／佐賀県ホームページ／サガテレビ公式サイト／ 大阪府ホームページ／福島ニュース／ScanNetSecurity／

神戸新聞 NEXT／読売新聞オンライン／北海道新聞「どうしん電子版」／大阪市ホームページ／佐賀県教育委員会

神奈川県公式ウェブサイト／中日新聞 Web



## □【3】 学校ICT・セキュリティコラム ～研究を重ねた専門家が指南～



◆地域の力を活用しよう-GIGA 推進のために-◆

教育情報化サポーター 村松 雅

教育行政から離れ、地域で情報化に関わるようになった今、改めて感じたのは「地域と連携することで GIGA スクールが更に推進される」ということです。

連携の効果や可能性を実際に感じた事例を4つご紹介します。

## その1 テレワークの方のスキルを生かす

ある小学校で、子どもたちが端末を持ち帰って接続の実験する日に知人から連絡がありました。

内容は「本日学童クラブで20人ほどの児童が接続する予定。」

ネットワーク環境は整備したが、お手伝いしていただける方を紹介してほしい。」とのこと。

こんな時は地域でテレワークしている方の絶好の出番です。

実現のためには、保護者や地域の方でデジタルスキルのある方を把握することがポイントです。

## その2 地域の Wi-Fi 環境を生かす

自宅に Wi-Fi 環境がない家庭の支援は、モバイルルーターを貸し出すという方法だけでなく、「近隣の Wi-Fi に繋がせてもらう」「都市部では事業所の会議室等で繋がせてもらう」というのも考えられます。昨年の臨時休校中には複数の事業所から Wi-Fi 環境提供の申し出がありました。実現のためには、学校や教育委員会から地域に対し、セキュリティ対策を踏まえた上で、Wi-Fi 環境の提供依頼をすることがポイントです。

### その 3 家電量販店にも協力してもらう

自宅での端末使用時の充電器を家庭で購入する自治体の場合、スマホ用やコンビニで販売しているものでは対応できません。近くの家電量販店が保護者からの相談に対応できるように学校の端末整備情報を伝えておくことが有効です。実現のためには、地域の家電量販店等に、学校や教育委員会から GIGA スクールの整備状況の情報を提供し、周辺機器を購入するニーズがあることを伝えることがポイントです。

### その 4 市民からの寄付 PC を家庭での子ども用端末（Chromebook）化する（進行中）

自宅に PC があれば、学校の端末を持ち帰りしなくても公的アカウントが使えます。Windows11 発売で買い換えた PC 等を市民に寄付してもらい、Google アカウント利用地域なら Chromebook 化して希望する家庭に提供するのでしょうか。無料で可能です。

（昨年の臨時休校時は Windows7 の PC の寄付を募り、Windows10 にして 20 台以上提供しました）  
実現のためには、設定に協力してくれる保護者・市民の確保と、寄付プロジェクトを広報することがポイントです。

私たちの地域では「逗子葉山デジタルサポーターズ」という任意団体を作って、スキルのある市民に登録していただき、対応している最中です。また神奈川県内に複数店舗を持つ家電量販店に GIGA スクールの状況を伝え、充電器購入時の対応をお願いしました。

学校や市教委の情報提供は保護者が中心で、地域には意外と学校の変化が伝わっていないと感じています。  
まして GIGA スクールのような急激な変化の情報はまだまだ地域に伝わっていません。コロナ禍で大変な中ですが、テレワーク等でデジタルスキルのある方が地域にいらっしゃることを最大限活用するのはどうでしょうか。  
各地域での GIGA スクール推進のヒントになれば幸いです。

◆ 執筆者プロフィール ◆

教育情報化サポーター 村松 雅

神奈川県逗子市・横須賀市・三浦市の小中学校・市教委で勤務

横須賀市の初代情報教育担当指導主事

2020 年 3 月まで逗子市教育委員会教育長

現在はフリーの教育情報化サポーターとして情報化を地域から側面支援中

村松先生へのご質問・ご意見等は、

こちらのメールアドレス宛てにお送りください。

**[muramatsu.masashi@gmail.com](mailto:muramatsu.masashi@gmail.com)**

※意図しないメールを避けるため、このような表記しております。

ご連絡の際は、○を@に置き換えてください。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-8-8 目黒 F2 ビル 1 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

---

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介します。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>